

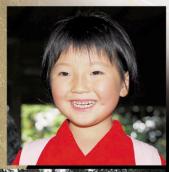
今を生きる人々によって明日へとつながっていきます。















へいさんぼう [お田植祭り] (5月)

[Heisanbo]

牛渡の鹿島神社の例祭で、5月5日に行われます。若者衆4人が、代かきのまねをして馬1頭を拝殿まで引き回します。その後、老爺が苗を配る真似をして豊作を祈ると、次に神主と2人の早乙女(少女)が豊作と健康を祈ります。





藤切り祇園 (7月)

[Fujikiri-gion]

下当(したどう)が藤づるを振り回し神輿の行く手をさえぎる中、これを薙刀(なぎなた)で払い、さらに木の根でできた「大魚」を鉈(なた)で切り開いて通るという、勇壮で全国的にもめずらしい神事です。







西成井煙火ばやし (7月)

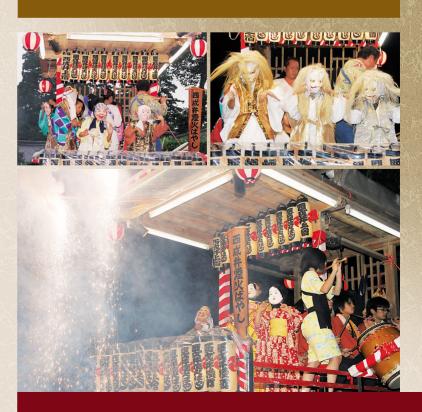
[Nishi-narui Enka Bayashi]

西成井の八坂神社祇園祭で披露される西成井煙火ばやしは、山車の上でユーモラスに踊る姿が、多くの人に愛されています。ひょっとこ踊りに獅子舞が加わると、祭りはさらに盛り上がります。

人々の心を照らす伝統の光 大々の心を照らす伝統の光 かすみがうら市には、人から人へ永く受 かすみがうら市には、人から人へ永く受 がつの時代も変わることがありません。 江戸時代元禄期より「五穀豊穣」を祈願 いつの時代も変わることがありません。 江戸時代元禄期より「五穀豊穣」を祈願 いさんぼう』や、囃子に合わせてユーモラ する庶民の祭りとして今に続いている『へ いさんぼう』や、囃子に合わせてユーモラ スな踊りが奉納される『西成井煙火ばや 大々の心を照らす伝統の光

Tradition Enlightening the Minds of People

Characteristic traditional culture has been handed down since the Genroku era of the Edo period, including Heisanbo, a popular festival praying for bumper crops; Nishi-narui Enka Bayashi, which is famous for its unique dance; and Fujikiri-gion at the Fukaya-yasaka Shrine.



なお人々の手で大切に守られています。